



令和3年12月15日

発行 美保だいせん会  
印刷 東京印刷株式会社

### 記念式典

## 第41教育飛行隊壮行会を挙

### 26年余の長きにわたる支援に感謝を込めて

10月15日(金)、美保基地は同月末に浜松基地への移動を控えた第41教育飛行隊の壮行会を挙



壮行式の様子



放水を受けるT-400

壮行会には美保基地周辺の2県4市(鳥取県、島根県、境港市、米子市、松江府、安来市)の代表、美保基地協力5団体の方々、中四国防衛局長、航空支援集団司令官、にご臨席を頂いた。與儀孝3論空隊司令は執行者挨拶の中で「第41教育飛行隊は、部隊が新設された平成七年六月から約二十六年余の年月を美保の地で育てて頂きました。その歩みは、教育部隊及びT-400ジェット練習機の配備促進を、強力かつ強靱に支えて頂いた基地協力団体の皆様の存在なしに語ることができません。また、T-400の配備並びに基本操縦課程の意義を理解頂き、温かく見守って頂いた周辺自治体をはじめとする地域の皆様の存在なしに語ることができません。」



金古支援集団司令官から祝辞を頂戴する

第41教育飛行隊は、基本操縦課程の課程開始から、すでに約五百名余の操縦者を育成し、航空自衛隊の輸送機部隊や救難機部隊の最前線へ送り出してきました。彼ら、彼女らは皆、弓ヶ浜、中

海、美保関、伯耆大山に囲まれる風光明媚な美保の地で航空自衛隊の操縦者としての精神を学び、空の最前線で活躍しているわけです。今般の部隊移動は、現下の諸情勢を踏まえ、より一貫した教育体制の下で、より質の高い輸送機及び救難機の操縦者を育成するという観点から、航空支援集団隷下から教育を担う航空教育集団隷下に部隊を移動させるものです。併せて浜松基地へと部隊を移動させ、育てて頂いた美保の地を離れることは、後ろ髪をひかれる想いは薄れることはありません。第41教育飛行隊は、今後とも自らの任務を果たすべく教育に情熱を注ぎ、航空自衛隊の根幹を支え、本日ご臨席の関係各位皆様の期待にも引き続き応えていくものと確信しています。」(要旨)と述べた。

その後、航空支援集団司令官・金古真一空将をはじめ鳥取県地域づくり推進部



小齊41飛行隊長から與儀3論空隊司令に隊旗が手渡される



最後の見送りをする隊員たち



浜松基地に向けT-400に乗り込む

「一定年後はボツンと軒家の主」と思う。

10月28日(木)、第3輸送航空隊は飛行群第41教育飛行隊隊旗返還式をT-400整備格納庫において挙

見送りを受けた小齊飛行隊長は共に残っていたクルー達と最後のT-400練習機に乗り込み、浜松基地へ向けて飛び立った。

### 隊員に見送られ浜松基地へ出発

## 第41教育飛行隊隊旗返還式

式では、初めに與儀第3輸送航空隊司令が「第41教育飛行隊及び検査隊第2小隊の諸官、美保基地での勤務ありがとう。そして、ご苦労様。明日からは、編成も所在地も変わる事となるが、第41教育飛行隊の果たすべき任務に何ら変化はない。これまで通り、航空自衛隊の根幹を支える強く逞しい操縦者を育てていくことを美保の地から期待する。」(要旨)と

の任務に就いております。第41教育飛行隊は、今月29日には浜松の地で新たな一歩を歩むこととなります。この美保の地で培った伝統をしっかりと継承しつつ、浜松の地において第1航空団の他の二つの飛行隊と切磋琢磨しながら引き続き遅く優秀な操縦者を育成していくことをお約束して感謝の言葉といたします。」

「要旨」と謝辞を述べ壮行会は終了した。



挨拶を述べる與儀美保基地司令

長・木本美喜様、美保基地協力会長・奥森清様から祝辞を頂戴した。最後に第41教育飛行隊長・小齊圭司2佐が「第41教育飛行隊は、先ほどの飛行訓練をもちまして、第3輸送航空隊の一員としての美保基地における飛行訓練を無事に終了することができました。第41教育飛行隊及びT-400の整備を担う検査隊第2小隊を代表しまして皆様の多大なるご支援に改めまして御礼申し上げます。」

現在までに第41教育飛行隊を卒業した操縦者の多くは日本全国の部隊で厳しい訓練に臨み、また、司令部等の要所において日夜国防

隊を卒業した操縦者の多くは日本全国の部隊で厳しい訓練に臨み、また、司令部等の要所において日夜国防



感謝の言葉を述べる小齊41飛行隊長



私の実家は、境港から車で1時間くらいのところにあるが、大変な田舎で周囲の景色はテレビ番組の「ボツンと軒家」で放送されても不思議ではないような場所にある。最近家の周りに猪が出没するらしく、近所は家や畑の周りを柵で囲う等の対策をとっているが、我が家は何の対策もしていない。先日、母から猪が入ったくないように柵で畑の周りを囲って欲しいかと依頼された。柵なんて作ったこともない素人の私が、きちんとした物が出るかどうかわからない不安があったが母の期待に応えたいという思いから翌日、ホームセンターに出向いてみた。

ホームセンターには様々な柵が売られており、私は軽トラに積めるだけの資材を購入して帰宅した。帰宅後、早速、作業を開始し、畑を囲うように設置してみた。あともう少しで完成というところで資材が足りなくなってきたため、周辺の山から竹を切り出し、なんとか柵を完成させることが出来た。見た目はなんとも頼りなさそうな柵であったため、効果の程には疑問もあつたが、今のところ猪の被害は発生していないとのことである。不格好な柵もそれなりの役目は果たしているようであり、自己満足のレベルではあるが少しは親孝行が出来たのではないかと感じている。

### 野外出動訓練を実施

#### 護国延命地蔵尊周辺の環境整備

10月19日(火)、美保基地及び高尾山分屯基地は、鳥根県出雲市久多見に所在する平田延命地蔵尊周辺の環境整備を実施した。

同日、美保基地開庁式典の祝賀飛行に向け、築城基地を飛び立ったF86F戦闘機4機のうち3機が濃霧のため視界を遮られ、鳥根県平田市久多見(当時)槍ヶ崎山頂付近に激突、3人の



丁寧に草木の剪定を行います

パイロットが殉職した事故の後、地元の方々により墜落現場付近に建立されたものである。

環境整備には、美保基地准曹士先任の柴田准尉以下美保基地及び高尾山分屯基地から30名の隊員が参加し、爽やかな秋の風が吹く中、清掃活動に汗を流した。

今回、初めて環境整備に参加した隊員たちからは、同地区及び護持委員会の皆様が長年にわたり地蔵尊の維持管理を実施して下さっていることに驚きと感謝の言葉が聞かれた。

現場には、同地蔵尊護持委員会の鳥田富夫委員長が訪れ、環境整備をしている隊員達に激励の言葉を掛けて頂いた。また鳥田委員長は「例年であればコミュニティセンターで護持委員会の会員と皆さんで交流を

実施するところですが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため今回も開催を断念しました。一日も早くコロナ禍が収束し、隊員の皆さんと再び交流が持てる日が来ることを切に願っています。」とのお言葉を頂戴した。



皆さんお疲れさまでした

### 皆様からの支援に感謝の気持ち

#### 検査隊旧第2小隊が浜松基地へ

令和3年10月28日(木)、T・400 41・5055号機が浜松へ空輸され、これに伴い検査隊旧第2小隊(令和3年11月1日にKC・46Aの整備を担当する新第2小隊が発足)の美保基地におけるT・400の整備がすべて完了し、8月1日から11月1日までに第2小隊長以下所属隊員は浜松への異動が完了しました。T・400が美保基地へ配備されてから約27年間検査隊旧第2小隊が任務を全うできたのは検査隊旧第2小隊員の努力だけでなく、共にT・400の整備に携わった隊員の方々といつもT・400の整備に携わる隊員が整備に集中できるような様々な支援をし

てくださった司令部、飛行群、41教育飛行隊及び基地業務群の皆様のご協力の賜物でした。また異動の諸準備のために協力してくださった方々、ありがとうございました。旧第2小隊が遠く離れた浜松の地に根を下ろし、大輪の花を咲かせるのをしばらく温かく見守っていただければ幸いです。また旧第2小隊員を見掛けた際はお声掛けいただければ励みになりますので是非よろしくお願いたします。【浜松より旧2小隊一同】

### 中堅空曹としての対処能力向上を目指し

#### 2曹能力向上訓練を実施



教練でキビキビした動きを見せる

10月5日〜7日までの間、第3輸送航空隊は、令和3年度の2等空曹能力向上訓練を実施した。

今回の訓練は任務遂行の現場において直接指導に当たる中堅空曹の役割を認識させるとともに、分隊の指揮能力の向上を目指すことを目的として整備補給講義堂、基地東グラウンド等で実施され、18名の隊員が各種能力の向上を目指した。

初日は導入教育を実施した後、基地東グラウンドで「基本教練」を実施した。参加者たちは開始当初は、久しぶりの教練に戸惑う姿も散見されたが、訓練が進むにつれて各種動作もスムーズになり、斉せいとした動



真剣な表情で訓練に臨む被訓練者たち

作で訓練に臨んでいた。午後からは、整備補給群講義堂で、柴崎副司令による講話を聴講した。講話では柴崎副司令が航空自衛隊に入隊することとなった経緯や部隊勤務での貴重な経験談、さらには仲間と力を合わせて事を成し遂げた時の達成感の素晴らしさについてお話をいただいた。訓練参

加者からは「私も中学生の頃は副司令と同じようなことを考えていたなど、少し懐かしき気持ちになりました。階級に関係なく誰もが同じような悩みを持つことがあるのだなど、とても共感できるお話でした。」と感想を述べた。



27年間ありがとう第2小隊

Thanks 2小隊! 美保基地勤務お疲れさまでした。浜松餃子食べて遠州灘の空に負けず頑張ってください!

### 僕のおとうさん

佐藤 圭悟くん(渡小6年) 香帆さん(渡小1年)

#### バスケットも折り紙も上手なお父さん

僕のお父さんは、半年前まで単身赴任をしていました。遠くで働いていましたが、僕たちのイベントには帰ってきてくれる優しいお父さんです。春に帰ってきてからは、一緒の時間が多くなりました。休みの日には一緒にご飯を作ったり、得意なUFOキャッチャーで僕の好きなフィギュアを取ってくれます。この間は、一緒に餃子を作りました。とてもおいしかったです。お父さんはバスケットもしています。僕も中学生になったらバスケットボール部に入るので、教えてもらってお父さんのように上手になりたいです。

わたしのお父さんは、よくおりがみをいっしょにつくったりこうえんであそんでくれます。おりがみはわたしのおねがいしたものをしらべてつくってくれます。またいっぱいつくってね。

わたしのお父さんは、よくおりがみをいっしょにつくったりこうえんであそんでくれます。おりがみはわたしのおねがいしたものをしらべてつくってくれます。またいっぱいつくってね。



左から: 圭悟くん 香帆さん

### 在外邦人等輸送任務

#### 派遣隊員に対して 美保基地協力会から記念品

#### 美保基地協力会から記念品

10月20日(水)、基地応援室において、美保基地協力会の奥森清会長より美保基地に対して記念品が送られた。

記念品の贈呈は、在外邦人等輸送のため美保基地から派遣された隊員を表彰することを目的として実施され、贈呈には、奥森基地司令、柴崎副司令、第403飛行隊長・齋藤2佐が出席し、奥森会長より派遣隊員

を代理として齋藤飛行隊長に手渡された。

奥森会長からは「在外邦人の救出は時間との闘いとなる大変厳しい任務です。国民は隊員の皆さんの活躍に期待しています。安全保障環境の変化も厳しい状況の中で、今後の任務遂行と安全に留意され活躍してください。」とお言葉を頂戴した。



奥森基地協力会会長から記念の盾を贈呈された



# 米太平洋空軍

## 空港業務競技会に参加

### 管理隊輸送小隊・石倉一平2曹

第3輸送航空隊基地業務管理隊輸送小隊、石倉一平2曹は8月24日～31日の間、アメリカ合衆国ハワイ州ヒッカム空軍基地において開催されたアメリカ太平洋空軍主催の空港業務競技会「エアームビリティロード」に参加した。



チームの仲間と記念撮影



全力で競技に臨みます

参加しての競技会となった。石倉2曹はコミュニケーションが全てで英語であったという環境の中でも、持ち前の明るい性格と積極的な姿勢で競技に臨み、6チーム中4位の結果を得ることが出来た。

帰国後の石倉2曹は同競技会参加の感想を聞いたところ「英語での意思疎通が本当に大変だったが、チームメイトに助けられて競技会を無事に終了することが出来たことが大きな自信になりました。競技会の最中に航空幕僚長が視察に見えられ、声をかけて頂いたこともとても嬉しかったです。今回の経験を今後の任務遂行と後輩の育成に生かしていきたいと思えます。」と力強く答えてくれた。

## 職場紹介 アットホームでフレンドリーな職場といえば！

### 美保気象隊観測班

だ い せ ん 新聞をご覧の皆さま、こんにちは。今回は、美保気象隊観測班について紹介したいと思います。我々観測班の主な業務は3つあります。それは「観測」「通報」「記録」です。一つ目の観測においては、風・視程・天気現象・雲・気温・露点温度・気圧等を器材あるいは目視によって観測します。次は通報を行います。これは観測した要素を専用のシステムを用いて、気象通報用の電文に編集しなおし、世界中に発信する業務です。最後は記録についてです。こちらは統計・検証等へ活用できるように観測・通報した要素を正確に記録し、保存しています。これらの業務を、シフト勤務によって二十四時間三百六十五日休むことなく実施しています。



業務にしっかり集中しています

# 故事成語

No.244 歲月人を待たず  
●年月は人の都合とは関係なく、少しもとどまらないこと。



歲月人を待たず  
歲月は人を待たず。年月は人の都合とは関係なく、少しもとどまらないこと。

斗酒十千  
喜びがあれば楽しむべき、たんけんのお酒で近所の人を集めよう。

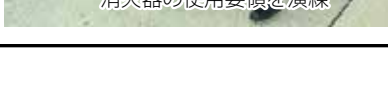
一日再び朝にならぬ  
若い時は二度と来ない。一日は再び朝にならぬ。

時を待つ  
時を待つ。時を待つ。時を待つ。

現在契約係として美保基地の食事情を支える糧食品の調達業務を担当しています。仕事ぶりについては、常に冷静沈着で淡々と業務をこなしており、関係各所



煙体験ハウス



消火器の使用要領を演練



とても分かりやすい説明でした

## 猫カフェ好きの好青年登場

### 基地業務群会計隊

寺岡 紀晋 一士

だ い せ ん 新聞をご覧の皆さま、こんにちは！今回は、会計隊期待のホープこと、1等空士 寺岡紀晋(てらおかのりゆき)君(以下、寺岡1士)を紹介いたします。

昨年7月に会計隊に配属された寺岡1士は、会計隊において、なくてはならない貴重な戦力となつていまい。そんな寺岡1士の仕事ぶり、人間性について紹介していきたいと思つています。

まず、仕事面においては、現在は契約係として美保基地の食事情を支える糧食品の調達業務を担当しています。仕事ぶりについては、常に冷静沈着で淡々と業務をこなしており、関係各所

に対しては、猫カフェで猫と戯れたり、さまざまな資格の勉強をしたりと、なかなか充実した生活を送っているようです。

今後の活躍が期待される超大型新人の寺岡1士を基地内で見かけた際は是非お声がけいただき、寺岡1士の交友を広げていただきたいです。

11月9日(火)、美保基地は第2整備格納庫において基地防火教育を実施した。本教育は、令和3年度秋の全国火災予防運動の一環として火災予防思想の一層の普及を図り、火災発生を防止することで高齢者を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的として、毎年この時期に実施している。

教育の前半は火災が発生した際の対処要領や火災発生時のメカニズム等についてスライドを活用して解説がなされた。後半は参加者が2つのグループに分け、水消火器を使用した消火器の使用要領の演練と、煙体験ハウスの使用して、火災時に発生する煙で火災現場の視界がどのように制限されるのかを体験した。

隊員たちには、火災の恐ろしさを再認識するとともに、火災から命を守るために、どのように行動すればよいのかを考える良い機会となった。



多くの隊員が参加しました

## 基地防火教育を実施

### 火災発生時の対処要領等を教育

# 家庭訪問

整備補給群本部

## 松下 慎 3曹宅の巻

### 家訓は「ママを怒らせないこと！」



恥ずかしがり屋なので後ろ姿でごめんなさい

整備補給群本部の松下3曹のお宅を訪問しました。この記事内では親しみを込めて「慎くん」と書きます。慎くんのご家族は、愛する奥様、溺愛するお嬢様とやんちゃ盛りの息子さんの4人家族です。6年半前に自宅を購入し、とても幸せな生活を過ごしている：ように見えました。

奥様との出会いは、専門学校時代に知り合いお付き合いを始めて、7年間の交際を経て結婚、翌年お嬢様がその2年後に息子さんが誕生したそうです。ちなみに、専門学校は「保育士」資格を取るための学校で、慎くんも保育士の資格を持つているとのこと。慎くんと奥様お互いの好きなどころを聞くと、慎くんは「優しいところ」、奥

様は「優しいところと頼めば何でもやってくれるところ」、そして直してほしいところを聞くと、慎くんは「ちよつと怒りっぽいところを：」、奥様は「人の話を聞いてないところ」とのこと。筆者の家庭と同様で奥様の序列の方が常に上位であることを共感しました。

松下家の子育て方針は「のびのびと、なるべく叱らない」と、なんとも素晴らしい方針で、お二人とも保育士のスキルがあったコメントだと感じました。お子さんには「自信をつけているんこと挑戦して欲しい」と目を細めて語っていました。

松下家の家訓を聞くと「ママを怒らせないこと」と、これも筆者共感でありました。その姿勢は、彼の仕事ぶりでも表れており上司や先輩を怒らせたことが：少ない：多分：、慎くんは天然なところもあります。慎くんは「優しいところ」を持っていて、

今年コロナ禍が去ったから、家族でUSJに行くことを楽しみにしているそうです。USJに行ったら、慎くんは「頼めば何でもやってくれる」パパなので、みんなが楽しんでいる間、家族のために一人で行列に並んでくれるでしょう。

整備補給群 足立曹長

様は「優しいところと頼めば何でもやってくれるところ」、そして直してほしいところを聞くと、慎くんは「ちよつと怒りっぽいところを：」、奥様は「人の話を聞いてないところ」とのこと。筆者の家庭と同様で奥様の序列の方が常に上位であることを共感しました。

松下家の子育て方針は「のびのびと、なるべく叱らない」と、なんとも素晴らしい方針で、お二人とも保育士のスキルがあったコメントだと感じました。お子さんには「自信をつけているんこと挑戦して欲しい」と目を細めて語っていました。

松下家の家訓を聞くと「ママを怒らせないこと」と、これも筆者共感でありました。その姿勢は、彼の仕事ぶりでも表れており上司や先輩を怒らせたことが：少ない：多分：、慎くんは天然なところもあります。慎くんは「優しいところ」を持っていて、

## ふるさとバンガイ

### 東西南北を結ぶ日本のど真ん中

～滋賀県大津市～

整備補給群修理隊修理小隊 大濱 良 1士



琵琶湖遠景

今回は、滋賀県について紹介していきたいと思っております。最初に、滋賀といえば、琵琶湖を思い浮かべるかと思いきや、面積は湖全体の6分の1しかありません。そして周辺地域に比べて地価が安価です。過去10年間の平均年間水害被害額が全国でも最小で、震度4を超える地震回数も関西地域の中にも少なく、自然災害が少ない地域です。

そして私が住んでいたのは大津市という場所です。山岳でのドライブが楽しめる、「伊吹山ドライブウェイ」、「スキーやトレッキングなど年中楽しめる「琵琶湖パレイ」が有名です。ちなみに私は幼少期からスキーを特技としており、どんな雪山でも滑ることができ

ます。琵琶湖パレイは絶景ポイントなので、是非行ってみてください。他にもパーベキューや水遊びも楽しめる「なぎさ公園」、琵琶湖汽船で湖のクルージングが楽しめる「ミシガンピアンカ」など、登山やワイントースポーツ、マリンスポーツ、温泉、バス釣りを身近で楽しむことが出来るとても良い所です。

私はいつも帰省した際、毎回のようにする事があります。それは、魚釣り、パーベキュー、山登り、冬にはスキーといった、アウトドアな娯楽を家族でします。これら全てが身近で出来るので、良い所に住んでいるなど実感しています。少しも興味を持たれた方は、是非滋賀県へ旅行などしてみたいかがでしょうか。



冬の伊吹山

### クリスマス

早いもので今年もクリスマスシーズン到来です。サンタクロースに何を願うかな

住所 鳥取県米子市

種田 清 准尉

住所 鳥取県境港市

中村 誠 1曹

## 高校生の職場体験学習を支援

### 鳥根県三刀屋高校掛合分校から2名が参加

11月16日、18日の3日間、美保基地は、鳥根地方協力本部が実施した鳥根県立三刀屋高校掛合分校に対する職場体験学習を支援した。

職場体験学習は、生徒が航空自衛隊及び美保基地への理解を深めるとともに、地域社会に貢献することの一助とすることを目的とした。

他にも気象隊や警備隊、さらには整備補給群や基地業務群といった多くの部隊の研修を実施したことで、航空機の運用に多くの隊員が関わっていることを理解したようであった。生徒たちが今後の進路を考える上で3日間の体験学習が良い経験となったことを願う。

緊張した面持ちで参加した生徒たちは、初めての2輪送機に圧倒されていたが、隊員の丁寧な対応に安心したようでありながら笑顔を見せながら学習に臨んでいた。管制塔では実際に航空管制業務を実施している隊員の姿に興味津々で管制隊の隊員の説明に目を輝かせていた。

C2前で説明を受ける様子

気象隊の機材に興味津々です

## こんな資格ご存じでしたか？

### ペットの救命士「ペットセイバー」

ペットの救命士の資格があるって知ってましたか？皆さんのご自宅、ご実家でペットを飼っている方はいますか？

最近、コロナ禍の影響に伴い、ペットを飼う家庭が増えています。しかし、その大変さを知らず、途中で投げ出したり、放置したりすることも多いらしく、また、ペットの体調変化に気づかない方もいます。そこで、突然ですが皆さんは「ペットセイバー」といいます。実はこの資格、日本国際動物救急救命協会と日本国際教育訓練センター（ともに一般社団法人）が正式に認定する資格で、講習会受講後に国際認定修了証が授与される、立派な国際資格なんです。昨年からは山陰地区でも講習会が実施されるようになり、受講資格は、12歳以上ならどなたでも受講できます。コースは、ペー

「ペットセイバー」といいます。実はこの資格、日本国際動物救急救命協会と日本国際教育訓練センター（ともに一般社団法人）が正式に認定する資格で、講習会受講後に国際認定修了証が授与される、立派な国際資格なんです。昨年からは山陰地区でも講習会が実施されるようになり、受講資格は、12歳以上ならどなたでも受講できます。コースは、ペー

珍しいですね。皆さんご存じでしたか？